

参考1

第3回林政審議会施策部会における意見の反映結果

章	ページ	意見	反映結果
トピックス	2-3	「森林・林業基本計画」の図は、見やすくして、見開き左側に移動すべき。「森林経営計画」の図は見開き右側に移動すべき。	「森林・林業基本計画」の図は、大きくして左側に移動した。「森林経営計画」の図は右側に移動した。
トピックス	4-5	山地災害のトピックスは、台風や集中豪雨の記述のみならず、東日本大震災に関する内容も含めて、2頁分とすべき。	トピックス2の題名を「東日本大震災や台風・集中豪雨などにより災害が多発」とした上で、東日本大震災の被害について大幅に加筆して、2頁分とした。
トピックス	4-5	トピックスで、合板工場の復旧に向けた取組や被災前後の合板工場の写真を取り上げて欲しい。	合板業界による復旧に向けた取組について記述した。また、合板工場の被災状況の写真を加えた。さらに、I章11頁に合板工場の復旧状況の写真を加えた。
トピックス	6	国際森林年のトピックスは、写真説明が見つからない。本文での記述が少ないので、トピックスと本文でバランス良く記述すべき。	トピックスの写真を整理した。本文の記述を充実させた。
トピックス	7	「順応的」は分かりにくい。	脚注に「順応的」の説明を加えた。
I	13	表I-1に日合連による合板安定供給の取組を入れて欲しい。	3月17日に「日本合板工業組合連合会が合板の安定供給に向けた取組を開始」したことなどを加筆した。
I	14	「復興の基本方針」の事例は、「事例」とする必要はない。	「事例」の表示を削除した。
I	16	地盤がゆるんだことにより、降雨などで山地災害が発生する可能性が高まっていることを記述すべき。	地震により地盤がゆるんだ箇所では、今後の降雨などによる山地災害の発生が懸念されており、情報提供が重要となっている旨加筆した。
I	18-19	合板工場の復旧に向けた取組や被災前後の合板工場の写真を取り上げて欲しい。	「日本合板工業組合連合会では、震災直後から、合板の安定供給に全力を挙げる旨の声明を发出して、」と加筆した。また、図I-4として、被災前後の合板工場の写真を掲載した。
I	21	図I-6の円グラフの大きさを合わせるべき。	宮城県と福島県の円グラフの大きさを調整した。
I	22	海岸防災林の被害前後の写真を掲載すべき。	図I-7として、海岸防災林の被害前後の写真を掲載した。
I	32-33	地震による被害について、茨城県では、全壊はしなかったものの、瓦が落ちるなどの被害が発生している。このような被害が発生していることも記述すべき。	「屋根瓦の被害や外壁仕上げ材の剥落や損傷といった軽微な被害は、関東地方から東北地方に至る広い範囲で多数見られた」旨加筆した。
I	35	「再生可能エネルギーの固定買取制度」については、I章では文章での記述にとどめて、詳細はV章に記述すべき。	表I-5をV章に移動するとともに、固定買取制度に関する記述を簡略化した。
I	39	「森林・林業基本計画」における林地残材活用の方針との関係を記述すべき。	課題③に、「森林・林業基本計画」を踏まえて、と加筆するとともに、未利用間伐材等の発生状況について説明を加えた。

章	ページ	意見	反映結果
I	40	「原子炉が停止」と書いた後に、「冷温停止状態」に達したと書かれている。記述ぶりを整理すべき。	原子力災害対策本部の報告書を踏まえて、正確な記述に修正した。
I	43	「減容化」は分かりにくい。	「容積の縮減」とした。
I	44	薪を燃やした後の灰から高いレベルの放射性物質が検出されたことと、その扱いについて記述すべき。	平成24年1月に薪ストーブの灰から高い濃度の放射性セシウムが検出され、環境省と林野庁が検査の徹底を周知した旨加筆した。
I	45	「入込み者」は分かりにくい。	「入林者」とした。
I	51	チェルノブイリのコラムについては、記述ぶりを調整すべき。	紙・パルプ生産からの廃棄物の汚染、森林へのアクセスと林産物採取の規制、木材に含まれる放射性セシウムの暫定許容汚染レベルの設定については、記述を削除した。 あわせて、小見出しを「木材への影響」「森林の放射性物質汚染対策」に見直した。
I	51	木材産業への影響の観点から、紙・パルプ生産からの廃棄物の汚染、森林へのアクセスと林産物採取の規制、木材に含まれる放射性セシウムの暫定許容汚染レベルの設定については削除すべき。	
II	63	COP17の概要の表は、「表」とする必要はない。	「表」の表示を削除した。
II	63-65	HWPに関する記述を目立つようにするべき。	HWPに関する記述箇所に小見出しを付けた。図Ⅱ-7を拡大した。
III	70, 77	齢級構成の図が2つ掲げられているが、縦軸・横軸のスケールが違う。表記を合わせるべき。	2つの図の縦軸・横軸のスケールを合わせた。
III	77	将来の齢級構成の図について、もう少し説明を加えるべき。	齢級構成の図について、本文中に説明を加えた。
III	85	広葉樹林の育成をどうするのかについて、記述を加えるべき。	資源利用が見込まれる広葉樹林については、育成複層林への移行や長伐期化を進める方針である旨加筆した。
III	85-86	「国際森林年」の記述を充実させるべき。	本文での記述を充実させるとともに、表Ⅲ-9も充実させて、2頁分の記述とした。
III	94	新たな「森林・林業・木材産業分野の研究・技術開発戦略」について、地域材の活用に向けた具体的事項を紹介すべき。	同戦略では、地域材を活用した部材の開発等に取り組むこととしている旨記述した。
IV	113	「林業就業者」の定義を記述すべき。	脚注に、「林業就業者」の定義を加筆した。
IV	124	准フォレスター研修には、木材産業も積極的に貢献していることを記述すべき。	准フォレスター研修では、製材工場や合板工場等の実態調査を行う通信研修も実施した旨加筆した。
V	135	ロシアからの丸太輸出が2011年の当初数ヶ月間増加したとの記述があるが、その後のデータはないのか。	毎年秋に発行される報告書に基づいて記述していることから、アップデートすることは困難。
V	153	国別合板輸入量、丸太輸入量及び国産材利用量の円グラフを加えるべき。	合板用材の供給元別内訳に関する円グラフを加えた。

章	ページ	意見	反映結果
V	155	「新流通・加工システム」により原木価格が上昇したことを記述すべき。	「これまでチップ材などに用途が限られていた低質な原木が、合板用材として相応の価格で利用されるようになった」旨記述した。
V	157	コンクリート型枠やフロア台板、仮囲い、敷き板等、合板需要拡大の施策を記述すべき。	コンクリート型枠、フロア台板、工事用仮囲い、工事現場の敷き板について加筆した。
V	163-164	燃料用の薪やチップの量を記述すべき。	薪の需給動向について加筆した。(用途別チップ消費量については調査中で、来年度以降の白書に反映。)
V	164	固定買取制度に関する表 I -5をV章に移動すべき。	表 I -5をV章に移動した。あわせて、「表」の表示を削除した。
V	167	「全国合板1枚・作品コンペ」を事例として紹介してほしい。	「全国合板1枚・作品コンペ」を事例に加えた。
VI	188	国有林野事業の一般会計化については、広報誌「RINYA」の図を取り入れるなどして、分かりやすくすべき。	「新たな国有林野の管理経営の姿」として、図を加えた。